

令和8年 第1回

川西市教育委員会（定例会）議事録

川 西 市 教 育 委 員 会

○ 会議日程・付議事件	1
○ 出席者	2
○ 説明のため出席を求めた者	3
○ 議事録作成者	3
○ 会議の顛末	4～11

○ 会議日程・付議事件

会議日時 令和8年1月22日（木） 午後2時

場 所 川西市役所 4階 庁議室

日程 番号	議 案 番 号	付 議 事 件	備 考
1		議事録署名委員の選任	
2		前回議事録の承認	
3		教育委員の活動について	

○ 出席者

教 育 長 石 田 剛

委 員 治 部 陽 介
(教育長職務代理者)

委 員 佐々木 歌織

委 員 金 子 愛

委 員 澤 野 幸 司

○ 説明のため出席を求めた者

教 育 推 進 部 長	岩脇 茂樹
教 育 推 進 部 理 事	下内 卓夫
(教育保育・インクルーシブ推進担当)	
教 育 推 進 部 副 部 長	富本 幸二郎
教 育 推 進 部 副 部 長	高橋 忠大
(教育保育・インクルーシブ推進担当)	
教 育 総 務 課 長	田中 秀弥

○ 議事録作成者

教 育 総 務 課 主 事	石塚 太樹
---------------	-------

○ 会議の顚末

[開会 午後2時]

石田教育長	ただいまより、令和8年第1回川西市教育委員会（定例会）を開会します。 初めに、「本日の出席者」を報告します。 本日は全員出席でございます。 本日の「事務局職員の出欠」については事務局から報告をお願いします。
教育総務課長 （田中）	本日の事務局職員の出席につきましてご報告申し上げます。 本日は、議題に関係する職員が全員出席でございます。 どうぞよろしくお願いいたします。
石田教育長	本日の「議事日程」につきましては、配付しております議事日程表のとおりであります。 これより日程に入ります。 日程第1「議事録署名委員の選任」を行います。 教育長において、佐々木委員、澤野委員を指名します。 よろしくお願いします。 次に、日程第2「前回議事録の承認」でございますが、事務局において調整し、第22回定例会及び第23回臨時会の議事録の写しをお手元に配付していますので、事務局から説明をお願いします。
教育総務課長 （田中）	それでは、議事録についてご説明いたします。 第22回定例会の議事録につきましては、1 ページに会議日程及び付議事件、2 ページに出席者、3 ページに説明のため出席を求めた者、4 ページに議案等審議結果、5 ページから議事録でございます。 署名委員は、治部委員と金子委員にご署名をいただいております。 次に、第23回臨時会の議事録につきましては、1 ページに会議日程及び付議事件、2 ページに出席者、3 ページに説明のため出席を求めた者、4 ページに議案等審議結果、5 ページから議事録でございます。 署名委員は、金子委員と佐々木委員よりご署名をいただいております。 説明は以上でございます。
石田教育長	説明は終わりました。 ただいまの説明について質疑はございませんか。よろしいですか。 それでは、お諮りいたします。

第22回定例会及び第23回臨時会の議事録につきまして、これを承認することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長

異議なしと認めます。

よって、「議事録」につきましては承認されました。

次に、日程第3「教育委員の活動について」であります。

事務局から報告をお願いします。

教育推進部長
(岩脇)

それでは、12月分の教育委員の皆様の活動についてご報告いたします。
治部委員におかれましては、多田小学校にて、校内サポートルームと通級指導教室の視察を行っていただきました。

また、キセラ川西にて第2回校内サポートルーム支援員研修会へご参加いただきました。

佐々木委員におかれましては、桜が丘小学校・多田中学校・明峰中学校にて、ウクライナからホームステイされておられるアントンさんの講演を行っていただきました。

また、東谷中学校にて子どもの人権学習を行っていただきました。

金子委員におかれましては、川西養護学校にて研究発表会、清和台公民館にて学校のあり方地域説明会、県立明峰高等学校にてE S D発表会、牧の台小学校にて公開授業、アステ川西にて多様な学びの場相談会、市役所にて第2回川西市地域クラブ活動推進協議会へご参加いただきました。

澤野委員におかれましては、加茂こども園にて保育参観、保育に関するフィードバック及び協議、加茂小学校との連携打合せを行っていただきました。

佐々木委員、澤野委員におかれましては、川西北小学校にて児童との意見交流会にご参加いただきました。

また、佐々木委員、金子委員におかれましては、オンラインにて生徒会交流会にご参加いただきました。

主なものではございますが、ご報告させていただきます。

石田教育長

ただいまの報告を含めて各委員のほうから活動について、またはトピックスなどがありましたら、ご報告いただきたいと思います。

治部委員どうでしょうか。

治部委員	先月、神出（かみで）学園という兵庫県立の全寮制フリースクールの方のお話を聞きに行きました。 今回のプレゼンテーションを受けた対象者が、市内の校内サポートルームの職員と不登校対策に携わる教員など、50人ぐらいおられました。みなさんでお話を聞いて検証する場ということでした。 その神出学園での活動様子の中で出てきたのが、居場所を作ることと、自分で自己選択、自己決定するということ、そのあたりがミックスしてくるとだんだんと安全を感じる。そうすると、パワーがついてきて大きな集団に戻っていく。そんな流れを強調されているように聞こえました。 あと、サポートルームの職員との意見交換でいくつか出てきた意見が、サポートルームの職員は、学校の教員と意見交換、もしくは情報共有をする機会が少ないので、その辺で少し孤立感を感じる。自分たちのやることがこれで正しいのかというのが不安になる。その辺りをもう少し協議する場を学校の教員とあったら自信につながるというのが、サポートルームの職員のお話でした。いろいろと今後も考えていきます。
石田教育長	ありがとうございます。神出（かんで）学園だと思うのですが。
教育推進部理事 （下内）	神出（かんで）学園です。
石田教育長	神出学園は、公立、県立でしょうか。
教育推進部理事 （下内）	県立です。
石田教育長	神出学園の職員が、来てくれたのでしょうか。
治部委員	キセラ川西でお話を聞きました。
石田教育長	神出学園は長いこと行けていないです。昔から、川西市もそれほど多い生徒ではないですけど、お世話になっています。ありがとうございました。 また、資料等がありましたらお話していただきたいし、サポートルームの支援員と校内の教職員との協議体みたいなものは、今後、校務分掌上に位置付ける必要はあると思います。 佐々木委員、何かありますでしょうか。

佐々木委員	たくさんありますが、東谷中学校でオンブズパーソンの職員と一緒に人権学習に行ってきました。 人権学習を重ねるごとに洗練されていくといいますか、整理されるといいますか、学校のほうで用意していた課題について、一定発表を聞いた後、私の意見を話すというような、こちらが一方的に話すようなものではなく、双方向の人権学習ができたと思います。 東谷中学校だけでしたので、他校でも続けてこういうのを行ってもらえたらいいと思いますが、オンブズパーソンの職員がどういうことを行ったかは分からないですが、人権教育として非常に良い機会と思いました。
石田教育長	ありがとうございました。 金子委員、何かありませんか。
金子委員	生徒会交流会ですけど、委員会側からしたら一度聞いた内容を、もう一度教えてもらう形ですが、各校の生徒会の子たちにすれば、他校の取り組みを知れる、他校の取り組みを自分の学校で話し合われるよいきっかけになる場だったので、全体交流はすごくいいと思いました。 次に、多様な学びの場相談会がありまして、実際不登校だったOBの方達が来てくださり、保護者の方からの質問に答えられていました。その中で、セオリアを卒業した子たちも複数人来てくれていてまして、その子達がちょうど高3の学年でした。自分の行きたい、進路をしっかりと決めていて、目標を持って夢を語っている姿を間近に見ることができました。 義務教育の間、セオリアにいる間とかは、いろんなことを経験していろんな思いを抱えて過ごしていた子達が、この関わりの中で自分の生きる道を見つけて進んでいけているっていうことにすごく感動を覚えました。 振り返ってみると、セオリアは遊びとか学びとか、仕掛けがすごく部屋中に散りばめられていて、自分で選べるような環境になっていたと今は思います。そこに、校長先生されていたり、長く生徒に関わられた現場の先生がスタッフとして入られて、専門家の方々の声かけとかというのが、子供たちの気付かない形で子供たちを導いたり支えになっていたと感じました。 それと、その子達が大学生になったら、絶対セオリアのボランティアに行くと言ってくれてすごくうれしい気持ちになって、これがセオリア 30年の歴史だと思いました。これからも続けてくれたらいいと思います。
石田教育長	今回、初めて市主催の多様な学びの場相談会を実施し、前半部分は教職

員対象、後半部分は保護者児童生徒対象でした。

教職員の参加は、現役の校長が数名、5名ぐらい。それから、児童生徒の方は30名ぐらいですか、各ブースにそれぞれ来られていたということでした。

正直、教職員の参加者がいないと思っていましたけど、小学校長が中心となって、各ブースに直接、校長先生が話をして、情報交換しているのは非常に良かったです。

今回、校園所長会で話をしたのでそれが増えていってくれたらと思います。学校の職員が、学校しか知らないということはないようにしたいです。学校外の多様な学びの場を、学校園所の教職員もやっぱり知るべきではと思うので、そういう場が設定できたら良かったのと、先ほど金子委員もありましたが、縦のつながりです。卒業生を含めて、縦のつながりがあったのも良かったです。ブースごとに私も話聞いていたら、こういうふうにサポートルームや、民間の学びの多様化の施設自体が集まることがあまりないと言っていました。だから、この横のネットワークを作るっていうのは非常に大事と思いました。だから、そういう意味でも、いろんな形で子供たちの学びを支援している学校外の施設を結ぶネットワークみたいなものが、今後必要になってくると思いました。

担当と話しているのは、夏に県主催のものがあるのですが、冬に市主催のものを継続して続けて定着するような形になるのも大事と思いました。

澤野委員、何かありますでしょうか。

澤野委員

加茂こども園の公開保育が終わって、その後4歳児5歳児が中心の研究でしたので、3歳児のほうも見てほしいということで行ってきたのがその12月の活動です。

3歳児の担任をされている先生方は、少しやはり経験の浅いと言いますか、そういった方が携わる担任をされていて、その中で園長としても少し枠にはめたがるというかこうしなさい、ああしなさいというふうな保育になりがちなので、その辺りを今日の保育を見てもらっていろいろ話をしてほしいということでした。比較的、加茂こども園は、随分先生方の公開保育とか今年一年のいろんな取り組みを通して、随分先生方の意識は上がってきているのではないかという気がしまして、3歳児の保育の中でも、子供たちが自由遊びの中で、病院の遊びをしていたのですが、病院に通院をしてくるようなシチュエーションのいわゆる病院を作っていく工程で、患者としてどうやって患者さんたちを連れてくるか、そういった工夫を子供たちはいろいろ発想豊かにやっていましたけど、先生方がよく見ながら、

子供たちが今何をしたいのかというタイミングを見ながら、その活動を支援していくとそういった芽が見えたので、その活動が非常に後の子供たちの活動の発展につながる話をして、最後まとめたところです。若い先生方にもそういった研究と言いますか、保育の質が上がっていくというのは根付きつつあるのではないかと、そんな気がした保育でした。

実はその後、12月末に加茂小学校と加茂こども園の初めて先生方の交流の研修会、合同の研修会を行う予定だったですけど、インフルエンザの流行で、それが延期になり、実は今週の月曜日に実施されるということで、その研修会に私も参加をさせていただきました。加茂小学校の先生方のほうが圧倒的に多くて、加茂こども園からは7名ぐらいの先生方しか参加できなかったですけど、子供がまだいますので。その中で、どれだけ加茂こども園の先生方が加茂小学校の先生方と話しするのかと思っていました。

結構、加茂こども園の先生方がやっぱりこども園の考え方、どういうふうな考え方で子供たちを見ているかとか、自分たちがどういうところに困っているかとかどういうふうに小学校に期待するかとかそういった話をする中で、小学校の先生方も意外とやっぱり自分たちと同じようなフィールド、同じような課題感をやっぱり保育園の先生方が持って、こども園の先生方も持っているということで、非常にこうそれぞれのグループで別れてディスカッションしていましたが、いい合同研修会、お互いが子供の事実と言いますか、子供の姿を通して自分たちの保育教育のあり方を考えていこうという、良い機会になったのではないかと感じます。だから、お互いのやっていることを理解するスタートラインに立てたというような時間が、今週月曜日のその時間だったです。

これから、加茂小学校では来年6月の公開授業に向けて、いろいろ積み重ねていくということですけど、まだまだハードルはたくさんあると思います。いいスタートが切れたのではないかとというふうに思ったところです。

石田教育長

ありがとうございました。

私も別の機会に加茂こども園の職員数人と話をする機会があって、その小学校との交流会と言いますか、報告を聞いて非常に満足していました。思ったより小学校の先生方が自分たちの活動を理解してくれたということで、前はなんかお互いに少しハードルがあるような感じだったですけど、なんか少しやれそうな気がするみたいなことを言っていました。

私も話している時に、エーズみたいなものを小学校の先生に点数をつけてみたらどうですかみたいな話をして、まず自分たちのやっていることを、小学校の先生に体感してもらうことによってなんか理解が深まったらいい

と話をしました。年度が替わって学年編成で教職員の学年も変わるのでどのように引き続きやっていくというのが課題です。学校演習同士の連携は、作品の協力もあって、少しずつ進んで、ステップとしては順調に踏んでいると個人的に思いました。

また、私のほうも加茂こども園の取り組みについて、見に行く必要があると思います。

私のほうも、12月はいっぱいいろいろありましたけど、一つはやっぱり生徒会同士の交流会、金子委員の報告にもありましたけど、生徒会と市職員それから市長を交えた意見交換会しているのですが、それが単発に終わってしまうので、生徒会同士をお互い交流させることによって新たな発見や意見、学びの場にならないかということで、中学校現場には負担かけますけど、年3回ぐらいを考えたいです。その第一弾を、この3月ぐらいに新生徒会になりますので、夏それから冬みたいな形で意見交流だけじゃなくて市全体に関わることについて、生徒会として意見交流できたらと考えます。ルールメイキングとか、教育課程とかそういうところの話ができたらと思っています。

いつの時代もそうですが、生徒会のメンバーは非常に元気が良く、屈託がなくて、お互い最初は緊張していましたが、その後良い関わり合いになったと思っています。

それから、1月になりますけど、台湾の小学生が、東谷小学校に来てくれて交流したということが先週ありました。

来週、今度タイの大学院の先生方、大学院の生徒たちが来られます。

教育推進部理事
(下内)

聞きましたら、向こうの学校の教員です。

石田教育長

教員ですか。こう視察に来るということで川西市の2校ぐらいの小学校に視察に来てくれます。お互いの良い刺激になったらいいと思います。

以前にも話しました、台湾との締結、覚書の締結が2月の最初ぐらいに予定されているので、そこでまあ公式に市としても、市教委としてもスタートしていくので、イベントで終わらずに、カリキュラムとして成立させるという方向に向けて何年かかけて、やっていけたらと思います。

詳しくは、各教育委員に配信させて、PDFで送らせていただいたと思うので、また読んでいただいたらと思っています。

はい、よろしいでしょうか。

それでは、教育委員の活動については以上です。

本日の議事は全て終了しました。
次回は2月12日木曜日午後3時から庁議室において定例会を開催予定
としています。
これをもちまして、令和8年第1回川西教育委員会（定例会）を閉会し
ます。
お疲れさまでした。

[閉会 午後2時24分]

以上会議の事項を記録し、相違ないことを認めましたので、ここに署名いたします。

令和8年2月12日

署名委員 佐々木 歌織

澤野 幸司